

北納だより

温故
創新

義務教育学校 八女市立

上陽北納学園

JOYO-HOKUZEI compulsory education school

第3号 令和7年6月2日発行

文責 校長 武藤 健

令和7年度重点目標「目標達成に向かって粘り強く取り組む子供の育成」

第9回 上陽北納学園運動会

スローガン 『繋(つなぐ)～あざやかな希望(はな)を咲かせよう～』



1・2年生「わたしの一番かわいいところ」



3・4年生「ダイナミック琉球」



中・高等科「上陽ソーラン」

5月18日(日)、天候不良で延期となった、令和7年度第9回上陽北納学園運動会を無事に開催することができました。

今年のスローガンは『繋(つなぐ)～あざやかな希望(はな)を咲かせよう』でした。この言葉には、子どもたち一人ひとりの思いや力をつなぎ、学年や立場を超えて一つになることで、美しい成果を咲かせたいという願いが込められています。

今年の運動会では、競技や演技のがんばりはもちろんのこと、子どもたちによる自主的な運営が大きな特徴でした。児童・生徒会役員や各科のブロックリーダーを中心として、それぞれの係に就いた児童生徒たちは、自分たちの役割に誇りを持ち、事前の準備から当日の運営まで、責任をもって取り組んでいました。開会式や閉会式の進行も、教職員の手を借りず、自分たちで流れを把握し、堂々と進める姿はとても立派で、頼もしさを感じました。

このように、子どもたちが主体的に関わりながら運動会をつくり上げたことは、まさに「つなぐ」というスローガンを体現したものです。一人の力ではできないことも、仲間と協力し合うことで大きな達成感を得られる…そのような学びを、子どもたちは運動会を通して実感できたことと思います。

保護者の皆様、地域の皆様には、多大なるご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。これからも、子どもたちの自主性や協働する力を大切に育ててまいります。

芸術鑑賞会～ミュージカル「ピノキオ」～

5月28日（水）ハ女市農業活性化センターにおいて、芸術鑑賞会を開催し、劇団ドリームカンパニーによるミュージカル「ピノキオ」を鑑賞しました。

子どもたちにとってはおなじみの物語が、色鮮やかな衣装や迫力ある歌声・ダンスとともに舞台上で生き生きと表現され、会場は笑いや驚きに包まれました。ピノキオの成長物語を通して、正直であることの大切さ、かけがえのない命の大切さ、家族や友だちを思いやる心など、たくさんのことを感じ取るよい機会となりました。

鑑賞後には、「すごく楽しかった!」「また、見たい!」という声が多く聞かれ、子どもたちの心に残る素晴らしい時間となりました。

劇団ドリームカンパニーの皆様、心温まる舞台をありがとうございました。



大切な命を守るために～梅雨の危険と気のゆるみ～

6月に入り、これから梅雨の時期を迎え、雨天の日が増えてきます。雨の日は、道路の見通しが悪くなり、歩行者がドライバーから見えにくくなる可能性があります。また、路面が滑りやすくなることで、思わぬ事故が起こりやすくなります。

特にこの時期は、新入生たちも学校生活に少しずつ慣れて登下校の緊張感が薄れてくる頃でもあり、横断歩道のない場所を渡る、傘をさしながら周囲の確認を怠るなど、危険な行動が見られることもあります。6月は児童生徒の交通事故が多い時期でもあり、少し怖い表現ではありますが「魔の6月」と言われることがあります。

また、右の図のように子どもの視野は大人と比較すると非常に狭くなっていることも科学的に証明されています。

つきましては、今一度ご家庭でも以下の点についてご確認・ご指導くださいますようお願いいたします。

- 登下校時は、歩道や路側帯をしっかりと歩く。
- 雨の日は、特に左右をしっかりと確認して道路を横断する。
- 傘をさしていても、周囲に注意を払う。
- 交通ルールを守る大切さを日頃から家庭で話し合う。
- 「慣れた頃こそ危険が潜んでいる」ことを家庭で話し合う。
- 自転車に乗るときはヘルメットを着用する。(令和5年4月1日より努力義務化)

安全はすべての基本です。子どもたちが毎日元気に登下校できるよう、学校とご家庭とで連携をとってまいりたいと思います。保護者の皆様のご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

